

かいぎろく 会 議 録

かいぎめいしょう 会議名称	だい き さいわいくくみんかいぎ だい かいせんもんぶかい ひと こうつうあんぜんぶかい 第6期幸区区民会議 第10回専門部会 (人にやさしい交通安全部会)
にち じ 日時	へいせい ねん がつ にち もく 平成29年9月14日 (木) 18:30~20:00
かい じょう 会場	さいわいくやくしよ かいだい かいぎしつ 幸区役所 4階第4会議室
しゅつせきしゃ 出席者	くみんかいぎいいん おんじゅん ●区民会議委員 (50音順) あべのりひろいいん いいじただおいいん おのはるこいいん けおぼさと らつあみちゃんいいん 阿部法弘委員、飯島忠男委員、小野晴子委員、クハサート ラツァミチャン委員、 さかぐちいさおいいん しぶたに た み え いいん はしもとふみおいいん みうらただかずいいん 坂口 功 委員、渋谷多美枝委員、橋本文夫委員、三浦忠一委員 じむきょく ●事務局 さいわいくやくしよ たむらふくくちやう 幸区役所 田村副区長 さいわいくやくしよ すいしんぶきかくか きしかちやう よしおかちやう ほ さ やまぐちたんとくかりちやう 幸区役所まちづくり推進部企画課 岸課長、吉岡課長補佐、山口担当係長、 うしわかしゅにん さいわいくやくしよ き き かんり たんとく みやだてたんとくちやう どうろこうえん せ ん た ー せいびか 牛若主任、幸区役所危機管理担当 宮館担当課長、道路公園センター整備課 しんにしかちやう ほ さ あだちしよくいいん 新西課長補佐、安達職員 (株) 社会空間研究所 柳澤氏
けつせきしゃ 欠席者	あおきはるひこいいん かねだ いいん たかはし み さ こいいん 青木晴彦委員、金田さとみ委員、高橋美三子委員
ぼうちやうしゃ 傍聴者	なし
はいふしりやう 配布資料	ぎ じ しだい ●議事次第 しりやう ●資料1 「ひと こうつうあんぜんぶかい ちやうさしんぎ す け じ ゅ ー る 「人にやさしい交通安全部会」調査審議スケジュールについて しりやう ●資料2 ひ や り は っ と か し ょ ひ よ し ち く げんちちやうさけつかりしやう かくにん ヒヤリ・ハット箇所 (日吉地区) への現地調査結果 しりやう ●資料3 ちやうさとく ふ とりくみ じっせんてき とりくみないやう けんとうじやうきやう かくにん 調査等を踏まえた取組 (実践的な取組内容) の検討状況 しりやう ●資料4 ひ や り は っ と か し ょ けんしやうけつかりしやう ふ じっせんてきとりくみ ヒヤリ・ハット箇所の検証結果を踏まえた実践的取組 (ハード対策) (案) しりやう ●資料5 ちやうさとく ふ とりくみ じやうほうはっしん しゅほうけんとう あん 調査等を踏まえた取組 (情報発信の手法検討) (案) しりやう ●資料6 じっせんてきとりくみ さいわいく みんさい じやうほうはっしんとう じっしないう あん 実践的取組 (幸区民祭での情報発信等) の実施内容 (案) しりやう べっし ●資料6-別紙1 こうつうる ー ま な ー かん り ー ふ れ っ と あん 交通ルール・マナーに関するリーフレット (案) しりやう べっし ●資料6-別紙2 さいわいく みんさい ひ や り ん ぐちやうさほうほう 幸区民祭でのヒヤリング調査方法 しりやう べっし ●資料6-別紙3 ひ や り は っ と ま っ ぷ ヒヤリ・ハットマップ さんこうしりやう ●参考資料1 だい き さいわいくくみんかいぎ す け じ ゅ ー る 「第6期幸区区民会議」スケジュールについて さんこうしりやう ●参考資料2 だい かいせんもんぶかい ひと こうつうあんぜんぶかい かいぎろく 第9回専門部会 (人にやさしい交通安全部会) 会議録 さんこうしりやう ●参考資料3 だい き さいわいくくみんかいぎいいん さんよめいぼ 第6期幸区区民会議委員・参与名簿
ぎ だい 議 題	(1) ちやうさしんぎす け じ ゅ ー る 調査審議スケジュールについて (2) ひ や り は っ と か し ょ ひ よ し ち く げんちちやうさけつかりしやう かくにん ヒヤリ・ハット箇所 (日吉地区) への現地調査結果資料の確認について (3) ちやうさとく ふ とりくみ じっせんてき とりくみないやう けんとうじやうきやう かくにん 調査等を踏まえた取組 (実践的な取組内容) の検討状況の確認について (4) ひ や り は っ と か し ょ けんしやうけつかりしやう ふ じっせんてきとりくみ は ー どたいさく ないやう ヒヤリ・ハット箇所の検証結果を踏まえた実践的取組 (ハード対策) の内容 けんとう 検討について (5) ちやうさとく ふ とりくみ じやうほうはっしん しゅほう けんとう 調査等を踏まえた取組 (情報発信の手法) の検討について (6) じっせんてきとりくみ さいわいく みんさい じやうほうはっしんとう じっしないう けんとう 実践的取組 (幸区民祭での情報発信等) の実施内容の検討について

けつていじこう 決定事項	(1) 調査審議スケジュールについて ・資料1により、今後のスケジュールを確認・共有した。 (2) ヒヤリ・ハット箇所（日吉地区）への現地調査結果資料の確認について ・資料2により、日吉地区へのヒヤリ・ハット調査の結果を確認した。 (3) 調査等を踏まえた取組（実践的な取組内容）の検討状況の確認について ・資料3により、調査等を踏まえた実践的な取組内容の検討状況について確認し、検討を行った。 (4) ヒヤリ・ハット箇所の検証結果を踏まえた実践的取組（ハード対策）の内容検討について ・資料4により、調査等を踏まえた取組について確認し、意見交換を行った。 (5) 調査等を踏まえた取組（情報発信の手法）の検討について ・資料5により、調査等を踏まえた取組（情報発信の手法）について確認、検討を行い、概ね各案（「ヒヤリ・ハットマップ作り」を普及させるための情報発信について（案）、「クイズの認知度を踏まえた小中学生・高齢者の行動特性」を周知させるための情報発信について（案）、「交通安全に関する大人のモラル向上」をさせるための情報発信について（案））のとおりの方向性を確認した。 (6) 実践的取組（幸区民祭での情報発信等）の実施内容の検討について ・資料6及び資料6別紙1～3により、実践的取組の実施内容について確認し、検討を行った。 ・幸区民祭での実施内容について、概ね各案（交通ルール・マナーに関する（クイズの認知度を踏まえた小中学生・高齢者の行動特性）リーフレット配布による啓発活動（資料6-別紙1）、「交通安全に関する大人のモラル向上」啓発冊子作成のための「子どもの体験談」ヒヤリング調査（資料6-別紙2）、部会で調査審議した成果物（ヒヤリ・ハットマップ（資料6-別紙3）など）の展示）のとおりの実施することを確認し、次の3点について修正することも確認した。 ① 資料6-別紙1啓発リーフレット中面の各囲みの文言を精査すること。② 左記啓発リーフレット裏面は文字量を減らして、イラストを用いて、見やすくレイアウトを修正すること。③ 資料6-別紙2のヒヤリング調査票に聞き取り時の参考として、事例を複数記載すること。 ・10月7日（土）当日出席できる委員について、午前はケオパサート委員と三浦委員、午後は渋谷委員、阿部部長（14時過ぎから参加）及び橋本委員（15時から参加）、小野委員は午前午後どちらでも参加可能であることを確認し、本日欠席の委員へは後日確認することとした。
かいぎ ないよう 会議の内容 および おも はつげん 主な発言	(1) 調査審議スケジュールについて ●事務局から資料1について説明した。 ○資料1により、今後のスケジュールを確認・共有した。

(2) ヒヤリ・ハット箇所（日吉地区）への現地調査結果資料の確認について

●事務局から資料2について、調査結果の取りまとめ状況を報告した。

○資料2により、日吉地区へのヒヤリ・ハット調査の結果を確認した。

(3) 調査等を踏まえた取組（実践的な取組内容）の検討状況の確認について

●事務局から資料3について、各委員からの意見の取りまとめ状況を報告した。

○資料3により、調査等を踏まえた実践的な取組内容の検討状況について確認し、検討を行った。

【主な意見】

- ・自転車の事故としては対自動車と対歩行者の両面から見ていく必要がある。例えば道路上のスピードの問題もあり、歩行者との接触、交差点での対自動車の接触など2方面で考えられるのではないかな。
- ・マナーに対してのそれぞれの思いがあり、勘違いしているところもある。自己診断できるようなテスト表を作成して、啓発につなげるというのはどうだろうか。
- ・広報掲示板について、幸区民会議そのものを知っている人が少ない。PR不足なのもあると思う。もう少し区の広報を利用してPR活動をしてわかってもらいたい。
- ・大人のモラル向上という所で、意外と大人や高齢の方が危ない所を渡っている。小さい子がそれを真似すると危ないので、危険ですよ、横断歩道を通りましょうというのを啓発していきたい。
- ・事故を起こした結果がどうなってしまうかという事をわかってもらうために中高生や大人に色々な事故の事例を紹介したらどうか。それによって途方もない賠償金を払わされる、怪我をした人から訴えられるなどの事例をたくさん紹介したら効果があるのではないかな。
- ・自転車用の停止位置の明示、現状は停止位置が分かりにくい。大人のモラル向上について、交通安全教育を幼稚園からはじめたらどうだろうか。
- ・A部会では道路中心に人にやさしい交通安全についてやっているが、公園の中についてもどうにかしてほしい。ハード面でどうにかしてほしい。モラルの面では横断歩道について、信号のない歩行者用の横断歩道では車が止まらない。自転車がすり抜けていってしまう。それが当たり前になってしまっているのどうにかしたい。
- ・道路の表示をどうにかしたい。「あ！」など形のあるものを残していきたい。
- ・子どもの目線で大人に対する意見を求めるのは切り口として面白いと思ったが、少し難しいかもしれない。

- ・色々なことをやってもお金がかかる。今、企業の中には社会貢献に力を入れているところもあるので、そういったところとタイアップするような道筋を提言の中で残せたらと思う。
- ・せっかく街歩きで知らなかった危ないところを認識したので、そのような仕組みづくりをする。事故の賠償額の問題も入れてもいいと思う。今は小学校三年生にしか行っていない自転車教室を中学校や高校でも行って、思い起こしてもらうのが良いのではないかな。
- ・情報発信については You Tube を使ってはどうか。

(4) ヒヤリ・ハット箇所の検証結果を踏まえた実践的取組(ハード対策)の内容 検討について

●事務局から資料4について説明した。

○資料4により、ヒヤリ・ハット箇所の検証結果を踏まえた実践的取組(ハード対策)の内容について確認し、意見交換を行った。

【主な意見】

- ・河原町の所は緑道の側道の自動車道路が危ない。
- ・南河原公園内、神明神社の方から信号を待っていた自転車が一斉に幸クリニックの方に走っていく。歩いていたら自転車に囲まれてしまったことがある。自転車が通り抜けないように真ん中にラバーポールを立てることはできないか。
- ・新川崎駅前坂道の押し歩きはハードの対策が必要だと思う。どんな対策をすれば両方ともうまくいくだろうか。
- ・新川崎の駅前の坂は歩行者も自転車も怖い。エレベーターや階段をどう上手く利用してもらうか。
- ・夢見ヶ崎動物公園前の交差点で、交差点の真ん中で自転車がフリーに走ってしまふという状況が多い。モラルの問題もあるが、自転車が横断歩道を通らないというのをどうにかしなくてはいいけない。
- ・川崎駅のスクランブル交差点は自転車と歩行者のみだが、自転車はほとんど押し歩きしない。ソリッドスクエアの所では、自転車が車の時も歩行者の時も行ってしまう。
- ・下平間交差点では横断歩道のある側と歩道橋しかない側がある。横断歩道を撤去してちゃんと横断歩道にした方が安全ではないか。
- ・自転車STOPの標示がされたと説明があったが、現地調査と関係があるのか。
⇒現地調査後に標示したものです。
- ・ゲート型の車止め等を設置する場合は、すべての方、車椅子の方もきちんと通れるような状態で規制が出来たら良いなと思う。

- ・路面標示の「あ！」はどの程度効果があるのか確かめてみたい。
- ・新川崎の坂道は歩道が広いならば、ポールを立てるよりも自転車と歩行者が別々で通行できるようにしてもらった方が良いのではないかな。

(5) 調査等を踏まえた取組（情報発信の手法）の検討について

- 事務局から資料5について説明した。

- 資料5により、調査等を踏まえた取組（情報発信の手法）について確認、検討を行い、概ね各案（「ヒヤリ・ハットマップ作り」を普及させるための情報発信について（案）、「クイズの認知度を踏まえた小中学生・高齢者の行動特性」を周知させるための情報発信について（案）、「交通安全に関する大人のモラル向上」をさせるための情報発信について（案））のとおり方向性を確認した。

【主な意見】

- ・ヒヤリ・ハットマップ作りについて、マップ作りを体験させるという発想は良いと思った。それをもっと身近に、小学校で言えば校区、それを地域において発信して、それを隣の校区に広げていくというのは良いと思う。
- ・ルール・マナーの認知度について、子どもの目、立場から意識させていくという発想は良いなと思った。
- ・リーフレットは誰にでもわかるので良いと思う。
- ・町内会などにヒヤリ・ハットマップの作り方を教えてあげれば独自に作るというのはできると思う。ただ、町内のここが危ないよ、という情報は既に持っているところもある。
- ・マップが苦手だが、これは簡単でよくできていていいと思う。
- ・リーフレットについて、最後のページがつまらないので、グラフやイラストを入れて、1ページの半分ぐらいで改行した方が読みやすい。
- ・年配の方だと細かい字が読めない。単純なことだけを大きな字で書いてほしい。
- ・情報が双方向に行く仕組みが出来ればよい。町会にマップの作り方を教えて、それをまたフィードバックしてもらえるようにできると拡がりが出て良いと思う。
- ・リーフレットの中で、「歩道の中の道路側」という表現を「歩道の中の車道側」に変えてほしい。

(6) 実践的取組（幸区民祭での情報発信等）の実施内容の検討について

- 事務局から資料6及び資料6別紙1～3について説明した。

- 資料6及び資料6別紙1～3により、実践的取組の実施内容について確認し、検討を行った。

○ 幸 区民祭での実施内容について、概ね各案（交通ルール・マナーに関するクイズの認知度を踏まえた小中学生・高齢者の行動特性）リーフレット配布による啓発活動（資料6-別紙1）、「交通安全に関する大人のモラル向上」啓発冊子作成のための「子どもの体験談」ヒアリング調査（資料6-別紙2）、部会で調査審議した成果物（ヒヤリ・ハットマップ（資料6-別紙3）など）の展示）のとおりに実施することを確認し、次の3点について修正することも確認した。

①資料6-別紙1啓発リーフレット中面の各囲みの文言を精査すること。②左記啓発リーフレット裏面は文字量を減らして、イラストを用いて、見やすくレイアウトを修正すること。③資料6-別紙2のヒアリング調査票に聞き取り時の参考として、事例を複数記載すること。

○10月7日（土）当日出席できる委員について、午前はケオパサート委員と三浦委員、午後は渋谷委員、阿部部会長（14時過ぎから参加）及び橋本委員（15時から参加）、小野委員は午前午後どちらでも参加可能であることを確認し、本日欠席の委員へは後日確認することとした。

【主な意見】

- ・交通ルール・マナーに関するクイズは良いと思った。子どもの体験談の調査というのは信号無視、歩きスマホ、自転車の逆走など例を挙げて選んでもらってから引き出していくというのはどうか。
- ・質問項目はもっとたくさんあった方が良くと思う。
- ・調査票は項目をあげて丸をつけてもらい、そこから理由を聞いた方が答えやすいのではないかな。
- ・子どもから大人へ告げ口するような感じがして答えにくくは無いだろうか。
- ・いきなり白紙では答えにくいので選択肢にした方が良くはないか。また、区民祭だけではどれだけ集まるか不安なので、ざっくばらんに話せるような状況で聞くというのはどうか。
⇒選択肢から選ぶ方法だと、聞き取る内容が狭まる可能性があるため、事例をいくつか調査票に記載して、そこから例示して聞き取る方が色々な体験談が集まると思う。
- ・子どもから指摘されると大人は嫌なので、非常に有効だと思う。
- ・区民祭は人数は多いが、ヒアリングするタイミングが難しい。
⇒やってみて、サンプルが少ないようならば、別途考えたい。

以上